



カジノNO！ ストップ消費税10%！ いのち・くらしが 大切にされる市政へ

西田 **日本共産党**
生野区市政対策委員長 **さえ子**

あなたの声が
市政を変えます

1 カジノよりもくらし優先へ

- 「カジノ（IR）」計画はただちに中止します
- 高すぎる国保料、政令市では全国一高い介護保険料を引き下げます
- 保育所待機児・特養待機者を解消します

2 夢洲開発やめ、インフラ更新や防災対策を

- 「夢洲」への地下鉄延伸など巨額の税金投入をストップします
- 公共事業は、老朽化したインフラ更新や防災優先に転換します
- 「なんでも民営化」ではなく、水道事業は公営で継続します

3 どの子も伸びる教育環境を

- 35人以下の学級を小・中学校の全学年で実施します
- 市統一テストをやめ、チャレンジテスト中止を府に要求します
- 小中学校選択制は廃止、公設民営化方針は撤回します

4 中小企業が主役の経済対策へ

- 商店街応援予算を増やし、ブラック企業規制条例を制定します
- 中小企業の販路拡大や技術革新などを応援します
- 最低賃金を今すぐ1,000円以上に、国に社会保険料の事業所負担軽減を求めます

5 大阪の進路は市民が決める

- 市存続の住民投票結果にたち、市民の声が届く市政にします
- 「カジノで集客」ではなく、大阪の強みを生かした観光施策にします

財源はあります } ●無駄な大型公共事業ストップ
●「大阪都」・カジノの中止

私の決意

たくさんの製造業があり仕事があった町は大企業優遇の経済政策のもと、空き家と商店街のシャッターが増え、目に見えて活気が失われています。公共交通の要のバス路線の削減、減便で交通空白地域が増えたこともこれに拍車をかけているのではないのでしょうか。西部地域で進められている9つの学校を廃校にするという統廃合計画は、子育てしやすい町づくりと地域の防災に大きな影を落としかねません。すべての人が安心して安全に住み続けられる町づくりには住民の意見を尊重する行政の支援が不可欠です。地域での活動の経験を生かして住民の願いを市政に届けたいと考えています。

女性の声を市政に

日本の政治分野への女性の進出は世界の中でも遅れており、大阪市会の女性議員も86人中16人(18.6%)です。社会の意思決定の場に女性の声が届いていません。女性の政治参加で多様な人と人とのつながりを大切にしてきた大阪を豊かに発展させます。

だれもが安心してくらせる生野区を

学校統廃合

住民合意なしで9つの学校を廃校にする西部地域の学校統廃合計画は、通学の安全、防災拠点としての役割などからいったんストップさせます

バス

区役所や病院へ行くのも不便なバスは、路線の復活や増便で公共交通としての機能を充実させます

地下鉄

一人の市民も住んでいない夢洲へ延伸するのではなく、大池橋を通る地下鉄8号線の延伸をめざします